

授業概要

この『政治学』においては、我々の生活を直接・間接に取り巻く「政治」に対する「政治学」的な視点を養うことを目的としている。鳥瞰的な物事の捉え方を学び、またその分析枠組みを提供するのが「政治学」という学問の目的の一つである。

「政治」あるいは「民主主義」が機能不全を起こしていると言われているようになって久しいが、そうした議論が「前提」としているのは「代表制(あるいは代議制)民主主義」であり、その前提を疑う議論が現出しているのが昨今の状況であるといえる。まずそうした議論の見取り図についての理解を深めていけるよう講義する。

また昨年(2024年)は様々な選挙が実施されたが、その結果についてこれまで以上に議論が噴出した年でもあった。そうした政治現象について、決して特定の見方を押し付けるというのではなく一緒に考えていくという態度を涵養する糸口になればと考えている。

授業計画

第 1 回	講義の概略	
第 2 回	政治過程論(1) ~ 政治過程と政治参加、アクター論、多元主義とコーポラティズム	
第 3 回	政治過程論(2) ~ 政策決定、政策形成、政策実施、政策評価	
第 4 回	政治過程論(3) ~ 政策ネットワーク論	
第 5 回	民主主義論(1) ~ 現行OSとしての代表制民主主義(選挙制度を中心として)	
第 6 回	民主主義論(2) ~ 参加民主主義・・・・・熟議民主主義・闘技民主主義	
第 7 回	民主主義論(3) ~ 新たな民主主義の模索・・・・・QV・液体民主主義・くじ引き民主主義など	
第 8 回	国民国家主体(1) ~ 国際政治とグローバル政治	
第 9 回	国民国家主体(2) ~ 国民国家の生成・発展プロセス	
第 10 回	イデオロギー(1) ~ リベラリズム、ニューリベラリズム、ネオリベラリズム	
第 11 回	イデオロギー(2) ~ 再分配政策とリバタリアニズム	
第 12 回	福祉国家論(1) ~ 日本の社会保障制度	
第 13 回	福祉国家論(2) ~ 福祉国家と財政、グローバリゼーション	
第 14 回	福祉ガバナンス ~ ウェルフェア、ワークフェア、ベーシック・インカム構想	
第 15 回	非国家主体の役割、国際安全保障システム	
第 16 回	筆記試験	

到達目標

- ・昨今、機能不全を起こしつつあるとされる「民主主義」について、さまざまな捉え方・考え方が存在することが把握・理解できる。
- ・「政治過程論」とくに政策ネットワーク論という捉え方の理解・習得ができる。

履修上の注意

レポートの提出規定などを伝達するので、第一回の授業には必ず出席して下さい。(やむを得ない場合は第二回時に初回時の欠席理由を告げること。)

定期的に「小テスト」を実施します。それまでの内容を復習・理解しているかを問う内容なのでしっかりノートを確認しながら復習していくようにしてください。

予習・復習

コロナ禍を契機として、受講者がオンラインによって事前に知識を習得しておき対面授業においてはディスカッションを中心に学習を進めるといういわゆる「反転授業」が注目されてきています。

ディスカッションまで進めるつもりはありませんが、時間の節約という面からも当該授業での学習内容を事前にTeamsにアップロードしておき受講者にはそれをもとにして予習しておいてもらうという形式を昨年度から取り入れました。(※授業時に携帯端末を閲覧できないケースも考えられるので、時間的に余裕をもたせてアップロードするなどの配慮をしています。)今年度も基本的にはそうしたスタイルを進めていく予定です。

評価方法

上記の「小テスト」(30%)・学期末の試験の点数(60%)、ならびに授業態度(積極的発言等 10%)で総合評価します。

テキスト

「教科書」としては特に指定しませんが、参考文献等は授業中に伝達します。それらの中からレポートを課す予定なので、その意味でも授業には毎回出席するようにしてください。